

公益社団法人 日本介護福祉士会  
一般社団法人  
山形県介護福祉士会広報

第44号 2024.10.30  
発行  
山形県介護福祉士会広報委員会  
事務局  
山形県総合社会福祉センター内

「外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座」のご案内



第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、2040年度には約57万人となっています。超高齢社会、生産年齢人口の減少と照合すれば外国人介護人材の受け入れはさらに加速するでしょう。

そこで懸念されるのが量と質についてではないでしょうか。受け入れ採用実績(量)を上げても早期退職がお約束では堂々巡りです。いかに永年勤続してもらえる仕組みをつくれるか。それが出来なければ、高い倫理性の保持、尊厳のケア、専門性と価値の担保(質)は遠い場所に離れてしまうと思います。全ての国民は「この国に生まれて良かった」と思える社会を希求しています。この講座は、その思いを叶えるための手立てでもあると思っています。

日本介護福祉士会、都道府県介護福祉士会は「厚生労働省介護の日本語学習支援等事業」として本講座を全国展開しております。受講者参加費は無料です。オンライン形式ではなく集合形式のもと、本講座の講師養成研修を修了した人員で模試や解説、介護の専門用語理解度アップと文章読み取りのポイント等を中心にグループワークを入れながら進めていきます。どうぞ会員の皆様の事業所や地域の皆様にご案内頂きますようお願いいたします。

※山形県介護福祉士会では令和7年度より本格的に推進する事業です。たくさんのお問い合わせをお待ちしております。詳しくは、日本介護福祉士会・山形県介護福祉士会のHPをご覧ください。(佐々木利典)

連載

皆で考えよう倫理

皆さんは普段、倫理というものを意識されているでしょうか。介護福祉士には職業倫理が問われていますが、果たして介護福祉士だから必要なことでしょうか。一見、倫理という単語だけで見れば小難しい事に見えますが、人として守らなければいけないことであり、子どもから大人へ成長する過程で自然と備わっていくものでもあります。

昨今 SNS の発達により、物事の在り方に議論が広がっています。例えば、飲食店のテーブル席に置いてある調味料に口をつけるといった動画があれば、人々はそれを「悪」と言い、徹底した「正義」でもって動画に映っている人物を吊るし上げます。たしかに悪事を働いた人間が倫理を欠いた行動をしたのは間違いませんが、その者に対して正義をかざし過剰な裁きを下すことが本当の正義なのか、ここが倫理として問われるところです。

【日本介護福祉士会では倫理綱領】というものが存在します。

- ①利用者本位、自立支援    ②専門的サービスの提供    ③プライバシーの保護
  - ④総合的サービスの提供と積極的連携、協力    ⑤利用者ニーズの代弁    ⑥地域福祉の推進
  - ⑦後継者の育成
- といった宣言がありますが、これらの“倫理”を己に課して、サービスとして“尊厳”を提供する、そんな介護福祉士でありたいですね(池田隆晃)



山形県介護福祉士会では  
介護の日に合わせ  
11/10(日)山形駅コンコースで  
県民へのPR活動します。  
みなさん遊びに来てくださいね。

つながる歴史で  
介護の価値を高める  
～生涯学習と福祉の未来を共に考える～  
2024.11.15・16  
(11/15は祝日)

日本介護福祉士会  
第31回全国大会  
第22回日本介護学会  
島根県開催

寄稿ルー

今、介護福祉士に期待すること

公益社団法人山形県看護協会  
会長 若月裕子

高齢者施設や病院等で、介護福祉士と看護職が協働する機会が多くあり、介護福祉士の皆さまには、日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。

山形県では、人口減少が続く平均高齢化率 34.8%、全国5位\*と厳しい現状であり、高齢者一人ひとりが自分らしくいきいきと安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進が進められています。

介護保険サービスも充実してきましたが、加齢に伴う身体的な不都合をかかえて暮らす高齢者や、障害のある方の日常生活の継続には課題も多く、生活支援も含めた介護ニーズも複雑化・多様化・高度化してきていると実感しています。

支援が必要な方々やご家族が、快適な日常生活を送るためには、専門職として中核的な役割を果たしている介護福祉士の皆さまは、必要不可欠な存在です。また、医師や看護職の少ない介護施設等では、医療的ケアの知識と技術を習得され喀痰吸引や経管栄養などの医療行為も行われ、身体介護や生活支援だけでなく生命の維持という場面でも重要な役割を担っています。

今後、だれもが地域で暮らし、最期まで自分らしく生き暮らすことを叶えるためには、その思いを引き出し、かかわる専門職種間で連携し、情報を共有することが重要です。その実現に向け、多職種チームで関わり切れ目のない支援が継続できるよう、専門職としての力を発揮できることを期待しています。 \*山形県高齢社会関係データ集令和5年より抜粋

防災の日に

令和6年9月能登半島大雨災害で被災された皆様ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、災害はいつ起こるか分かりません。災害が発生しても落ち着いた行動が取れるよう日頃から災害に対する心がまえが必要になります。

今回は伝言ダイヤルについてお伝えします。災害伝言ダイヤルは災害発生時に、局番なしの「171」に電話をかけると、音声ガイダンスに従って安否などの伝言を音声で録音することができるサービスです。災害者の家族等がその伝言を再生し安否を確認できたり、被災者に対する伝言を録音することができます。

備蓄に関する事は気かけますが、万が一災害が起きた場合に家族等へ安否を伝える方法があることも知っておくと便利です。(安達秀則)



会員交流のひろば

コロナ禍を経た施設生活の変化

- 新型コロナが5類になり、1年以上経過しました。
- コロナ禍では、コロナ禍前に普通に行っていたご家族との面会や外出などが難しくなり、入所者の方にとっての楽しみや喜びに繋がることが少なくなってしまう状況が続いていたように感じます。施設外の空気に触れることが少なくなり、入所者ご本人とご家族との繋がりをどのように継続できれば良いか、どの施設も検討した時期が続きました。現在はその時期を経て、徐々に私が働く施設でもご家族との面会を再開したり、余暇支援でのドライブや外出、入所者のご自宅への外出などの取り組みを再開したりしています。特に面会に関しては、入所者ご本人、ご家族ともに喜ばれている様子を見ると、再開できて良かったなど感じることができます。

これからも感染対策は継続して必要な状況ですが、その中でも入所者の方やご家族に喜んでいただける取り組みを考えていけるよう頑張りたいと思います。

村山支部 T.A

【編集後記】

只今、認知症実践リーダー研修受講中…。たまに頭をひねるのは骨が折れますが、いくつになっても学び直せますね(焦)。隣の受講者さんは職場で介護技術をしっかりと教えられる人材が少ないと嘆いていました。村山支部で技術研修するのでオススメしてきました。技術、大切ですからね。大人の学びは誰かの為にアウトプットして、またインプットして、その繰り返しが成長するのだと。敬愛する彼女の言葉、印象に残っています。(E.H)

山形県介護福祉士会



一般社団法人  
山形県介護福祉士会  
LINE 公式アカウント



ほくすけ よくすけです。



日本介護福祉士会の  
新しくできたキャラクター  
ほくすけ よくすけ!